

YA 担当に聞く！！泣ける本



『100年たったら』 石井 睦美／文 アリス館
ひとりぼっちのライオンは、小鳥の100年たったら会えるという言葉信じて、生と死を繰り返していきます。最後の展開にホロッと涙が出ました。 司書M



『犬から聞いた素敵な話』 山口 花／著 東邦出版
中学の朝読で読み、感動してうるっときたのを我慢したことを覚えています。読み返すたびに感動しました。それ以来、動物系の話には弱いです。 司書H



『涙の音、聞こえたんですが』 嘉成 晴香／著 ポプラ社
涙の音が聞こえる、という能力を持つ女の子のお話です。孤独な美音の心の動きに、せつなさを感じますが、最後はあたたかい気持ちになりました。 司書T



～図書館の開館時間～

開館時間	日曜日～木曜日	10:00～18:00
	金曜日	10:00～20:00
	土曜日	10:00～19:00

休館日	毎月第1・3水曜日（祝日の場合は次の平日） 年末年始（12月28日～1月4日）
-----	--



ホームページ
はこちらです

大野城まどかぴあ図書館

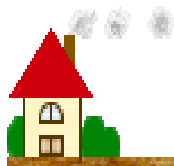
10代のための図書館情報誌

第54号
2023 冬号

わいわいぱら



まどかぴあ図書館には、10代の方に読んでもらいたい本を集めたYAコーナーがあります。



おすすめの本



『文通小説』

眞島 めいり／著（講談社）〔YA/F/マシ〕

「あたし、もうすぐ引っ越すんだ。」二年生として登校した最後の日、親友の貴緒からそう聞かされたたちさと。これからは LINE ではなく文通でやりとりをしようと、互いに手紙や絵を送り合う。しかし、お互い違う学校での生活、進路に対する不安の中で、少しずつ二人の関係に変化が訪れる…。中高生にとって心の大半を占める友人関係。二人のやりとりや不安定に揺れる思いにずっと引き込まれる、ふんわり優しい友情物語。



『最後の語り部』

ドナ・バーバ・ヒグエラ／著（東京創元社）〔YA/933.7/ヒ〕

地球に衝突する彗星から逃れるため、少女ペトラは家族と共に宇宙船に乗り込み、目覚めたのは380年後。しかし、ペトラ以外の人間は眠っている間に、地球にいた記憶を全て消されていた！人間とは思えない謎の生き物が支配する世界で、ペトラは従うフリをしながら脱出する機会を探っていく。語り手から届けられる物語の力を武器に、世界が広がるSFファンタジー。



ゆずれない想い



『チア男子!!』

朝井 リョウ／著（集英社）〔YA/F/アサ〕

柔道一家に育った晴希は、大学で柔道をやめることを決意する。そんな晴希に幼なじみの一馬は男子チアをしよう、と誘う。「誰かを応援することが、主役になる。」その言葉に押されるように晴希はチームの立ち上げから参加し、個性的な仲間と努力を重ねていく。それぞれに応援したい誰かを想いながら。目指すは全国選手権大会。ワクワク、そして涙が止まらない爽快な青春スポーツ小説。



『リンボウ先生のなるほど古典はおもしろい!』

林 望／著（理論社）〔YA/910.2/ハ〕

「古典は外国語ではありません。昔風に書いてある日本語なのです。」本書では和歌について、歌詞のようなものであり、声に出して読むと、全く違った趣を感じられると語られています。和歌の良さをぜひ体験してみてください。また、平家物語は別れの文学であったことや、源氏物語の描写の丁寧さなど、教科書に載っている古典についても書かれています。古典を読んでもみたくなる一冊です。

